

## 平成29年度取組状況

ものづくり工学科    ロボット工学コース    准教授    堀 滋樹

取組状況	
教育	<p>1.プロジェクトの使用と配布資料を併用した講義を行った。            学生が講義内容を理解し、関心を促す効果が得られるよう心掛けた。</p> <p>2.近年ロボット産業が注目され、雑誌で取り上げられた内容を可能な限り紹介。            学生の予習・復習を促す狙いで課題を出しているが、負荷にならない範囲でのさらなる工夫が必要と考える。</p> <p>3.継続してロボット工学コース実習内容の改変に積極的に務めていく。</p>
研究	<p>1.本年度の卒研テーマとして、「レスキューロボットコンテスト(以下、レスコンと略す)に基づく救助ロボットの開発」を引き続き実施した。            高度なロボットの開発が要求されるテーマであるため、創意工夫と教育的効果があったと考えられる。</p> <p>2.ロボットは、無線LANを使用した画像伝送・遠隔操作/制御用デバイスを用いた遠隔操縦であり、今年度は全く新しいロボットの導入により、第17回レスコンの東京予選に参加できている。</p> <p>3.第18回レスコンにも申し込んでおり、既に書類審査を通過している。            今後、ロボットによるセンシング等、強化していきたいと考えている。</p>
社会貢献	<p>1.レスコンシーズについては、第17回レスコン東京予選において、過去に学生と製作した江戸版フィールド2種を用意し、来校した子供たちにレスコンシーズを体験してもらい、地域への啓蒙活動に繋げていくことができたと考えている。</p> <p>2.日本機械学会ロボメカ部門の東京・千葉合同企画である「親子ロボットのスカベンジャー工作教室」を昨年に引き続き3日開催した。</p> <p>3.レスコン東京予選とロボットグランプリの会場として本キャンパスに招致し、近隣住民に公開することができた。</p>